

平成 20 年 6 月

(第 1 回)

京 都 府 教 育 委 員 会 会 議 録

1 開 会 平成20年 6 月 15日 午後 3 時 10分

閉 会 平成20年 6 月 15日 午後 4 時 1 分

2 出席委員

大 橋 委 員 長 冷 泉 委 員 岩 田 委 員

畑 委 員 田 原 教 育 長

3 欠席委員

な し

4 出席事務局職員

宮 野 教 育 次 長

森 永 管 理 部 長

高 熊 指 導 部 長

橋 本 理 事
総務企画課長事務取扱

北 澤 高 校 教 育 課 長

水 江 社 会 教 育 課 長

山 本 保 健 体 育 課 長

下 河 邊 参 事

阿 部 副 課 長

廣 田 主 任

嶋 田 主 任

5 議事の概要

(1) 開会

委員長が開会を宣告

(2) 前会議録の承認

ア 5月分1回の会議録について、全出席委員異議なく、これを承認した。

(3) 報告事項

ア 請願・陳情等の受理状況について

(ア) 「京都の定時制・通信制教育を考えるみんなの会」からの申入れについて

【報告】

指導部長から、申入れの概要について説明の後、各学校における募集定員は各地域の進路希望状況等を勘案しながら適切に判断し、定めたものであること。京都市立学校に関しては設置者である京都市教育委員会において適切に判断されるべきものである旨の説明があった。

【意見等】

委員から、桃山高校定時制に関する要望に関して他校の定員や志願者の状況との比較、定員を超えた志願者の進路状況について質問があり、高校教育課長から、桃山高校定時制の倍率は他校より高い状況にあること、第2次募集を実施するなど近隣の学校での受け入れが可能であること、指導部長から、学校ごとの教室数などの受け入れ状況から各学校の定員を定めている状況もある旨の説明があった。

また、委員から9月の進路希望状況調査を遅らせるなど希望状況と志願状況の差を小さくする工夫について意見があり、高校教育課長から、9月調査以降も12月に追加調査を行うなどしているが、その時点でも希望状況に大きな差がない状況となっている旨の説明があった。

委員からは、一部の学校に志願が偏るという状況に問題を感じることから希望者が集中しないような進路指導の必要性と、全体では十分な定員がある中で特定の学校に志願が集中する要因の検討について意見があり、委員長から、進路希望調査の結果によれば全日制を希望する者が多く、全日制の定員を増やしていく現在の方針は妥当であり、今後も中学生の進路希望を十分に把握しながら策定をしていくことが必要である旨の意見集約がなされた。

イ 京都府民のスポーツに関する調査の結果について

【報告】

保健体育課長から、京都府スポーツ振興計画の後半期に向けた計画の改定に資すること目的とした京都府民のスポーツに関する意識調査を実施した旨の説明の後、その

調査結果の概要について報告があった。

【意見等】

委員から、調査結果の中で、子どものスポーツに関する事項はしっかりとした対応が必要と感じること、世代間のつながりも以前より希薄になっているとの感想をもち、大きな課題として感じること。安心・安全なスポーツの場が少ないと感じており、学校施設を積極的に提供するなど地域交流の拠点として活用することが一層求められているのではないかとの意見があった。

(4) 議決事項

ア 第24号議案 平成20年6月府議会定例会の議決を経るべき議案に対する意見について 【非公開】

[原案どおり可決。]

イ 第25号議案 京都府社会教育委員の解嘱について 【非公開】

[原案どおり可決。]

(5) その他

ア 公開しないこととする議決について

(京都府教育委員会会議規則第15条第1項第1号及び第4号)

議決事項について、全出席委員異議なく、公開しないこととすることに議決。

(6) 閉会

委員長が閉会を宣告

署 名

大 橋 委 員 長

冷 泉 委 員

岩 田 委 員

畑 委 員

田 原 教 育 長

事 務 局 職 員